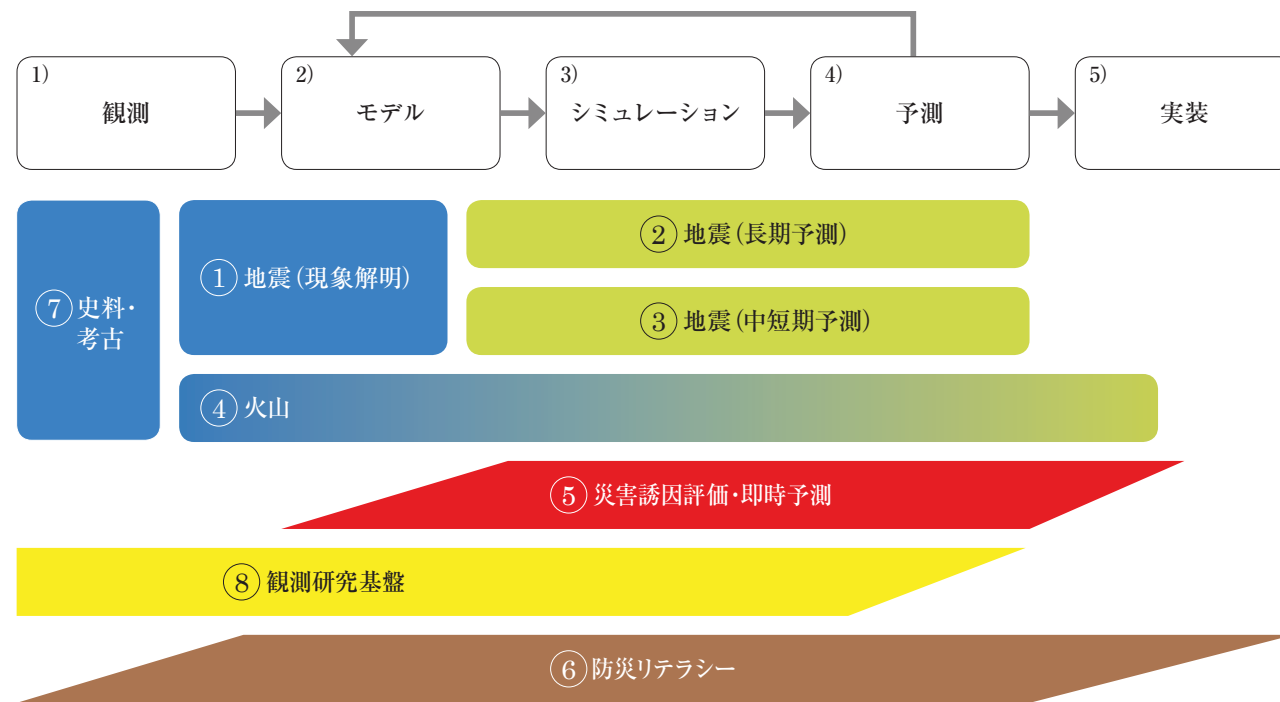


8つの計画推進部会

研究を効率的に推進するために、専門分野ごとに8つの計画推進部会を立ち上げています。
これらの計画推進部会は、地震・火山研究の流れに沿って、配置されています。

地震・火山研究の流れ



- 観測：地震・火山研究は、平時から地震・火山現象を観測しデータを収集・整理しています。
- モデル：地震・火山現象を構成する物理・化学過程と観測データとの関係性を明確にします。地震や火山噴火及びそれに至る現象を数式等で表現し、モデル化します。また、観測データを蓄積し、現象の推移などに関する統計モデルを構築します。
- シミュレーション：地震・火山噴火においては現象を再現することは困難ですので、実験や物理・化学的考察等により事象を数学的なモデルに置き換え、モデルに数値を入力・変化させることで、結果を推定するシミュレーションを実施します。
- 予測：統計モデルやシミュレーション結果を用い、現実の現象(次の地震・火山噴火の発生など)を予測します。
- 実装：研究過程そのものや、予測結果を用いて、社会に定着化・利活用を醸成します。

1 地震(現象解明)計画推進部会

地震活動や地震発生過程を観測し、データを収集して解析します。その結果から地震発生機構を解明し、地震が発生するまでの物理過程をモデル化します。
(観測→モデルフェーズ担当)

2 地震(長期予測)

観測データや地質データ、史料などから過去の地震発生履歴を解明し、地震の長期予測手法を開発します。さらに、観測データに基づき、歪(ひずみ)の蓄積状況などを推定し、数値シミュレーションを活用して、新たな長期予測手法の開発を目指します。
(モデル→シミュレーション→予測フェーズ担当)

3 地震(中短期予測)

モニタリングデータと地震発生の物理モデルを組み合わせ、地震の中短期予測の手法を開発します。さらに、地震活動などの観測データから、統計的手法を用い、地震の中短期予測を目指します。
(モデル→シミュレーション→予測フェーズ担当)

4 火山

観測や過去の噴出物の分析から、マグマ噴火、水蒸気噴火など様々な火山での噴火活動の中に、共通事象/差異のある事象を見つけ、差異のある事象に焦点を当て、研究を進めます。その結果を火山活動推移モデルにまとめ、噴火予測の高度化を目指します。
(観測→モデル→シミュレーション→予測→実装フェーズ担当)

5 災害誘因評価・即時予測

震源モデルに基づき、地震波や津波の発生・伝播過程、地表近くでの地震波の増幅、海岸近くでの津波の挙動を解明し、事前や地震発生直後の地震動や津波の予測手法、降灰の予測手法を開発します。またこれらの災害誘因予測情報を効果的に活用する方法を検討します。
(モデル→シミュレーション→予測フェーズ担当)

6 防災リテラシー

災害の軽減につなげるために、地震・火山研究の流れに沿って、観測研究計画の研究成果を活用し、国民1人1人に、科学的根拠に基づく「防災リテラシー」という理解枠組みの醸成を目指します。
(観測・モデル・シミュレーション・予測・実装フェーズを発信する)

7 史料・考古

地震・火山噴火は、同じ場所で繰り返し発生することがわかっています。実際に機材を用いて観測できない過去の地震・火山噴火について、歴史資料や遺跡などの考古資料を収集し、過去の記録や情報をデータベース化して分析します。
(観測フェーズ担当)

8 観測研究基盤

観測研究計画を安定的に実施するためには、観測データの利用環境整備と研究成果の蓄積、外部へのデータ公開が必要不可欠です。そのための観測研究基盤を研究・構築します。
(観測・モデル・シミュレーション・予測フェーズを支える)

各部会は、部会長・副部会長が、戦略室と連携しながら研究を進めています。

1 地震(現象解明)

部会長 飯高 隆
(東京大学地震研究所)

副部会長 望月 公廣
(東京大学地震研究所)

副部会長 岡田 知己
(東北大学大学院理学研究科)

2 地震(長期予測)

部会長 西村 卓也
(京都大学防災研究所)

副部会長 宍倉 正展
(産業技術総合研究所
地質調査総合センター
活断層・火山研究部門)

3 地震(中短期予測)

部会長 中谷 正生
(東京大学地震研究所)

副部会長 内田 直希
(東北大学大学院理学研究科)

4 火山

部会長 中道 治久
(京都大学防災研究所)

副部会長 前野 深
(東京大学地震研究所)

5 災害誘因評価・即時予測

部会長 太田 雄策
(東北大学大学院理学研究科)

副部会長 三宅 弘恵
(東京大学大学院情報学環)

6 防災リテラシー

部会長 高橋 誠
(名古屋大学大学院環境学研究所)

副部会長 木村 玲欧
(兵庫県立大学環境人間学部)

7 史料・考古

部会長 榎原 雅治
(東京大学史料編纂所)

副部会長 加納 靖之
(東京大学地震研究所)

8 観測研究基盤

部会長 鶴岡 弘
(東京大学地震研究所)

副部会長 青山 裕
(北海道大学大学院理学研究院)